

# 算数科学習指導案

2019年2月25日 月曜日 第5時  
 沖縄県 本部町立本部小学校  
 指導者 創価大学 鈴木詞雄

## 1 単 元 割 合 (啓林館)

### 2 単元の目標

- (1) 割合で考えることよさを知り、これを用いて数量の関係を判断しようとする。
- (2) 身近な問題で、割合の和や差、積を考えて問題を解くことができる。
- (3) 割合、比べる量、基にする量を求めることができる。また、部分の全体に対する割合を帯グラフや円グラフに表すことができる。
- (4) 割合の意味、および割合、比べる量、基にする量を求める仕方を理解することができる。

### 4 学習の計画 (14時間完了)

- |     |           |                               |
|-----|-----------|-------------------------------|
| 第1次 | 第1時       | 割合の意味を知り、単元の学習課題をつかむ。         |
|     | 第2時       | 全体と部分、部分と部分の割合を求める。           |
|     | 第3時       | 基にする量と割合から、比べる量の求め方を考える。      |
|     | 第4時       | 比べる量と割合から、基にする量の求め方を考える。      |
| 第2次 | 第5時       | 百分率の意味を知り、百分率と小数倍との関係について考える。 |
|     | 第6時       | 百分率を使った問題で、比べる量の求め方を考える。      |
|     | 第7時       | 百分率を使った問題で、基にする量の求め方を考える。     |
|     | 第8時       | 歩合の意味を知り、小数や百分率との関係について考える。   |
| 第3次 | 第9時       | 帯グラフと円グラフのよさを考える。             |
|     | 第10時      | 表を使って、帯グラフと円グラフをかく。           |
| 第4次 | 第11時      | 割合の和や差を求めて、基にする量の何倍にあたるかを考える。 |
|     | 第12時      | 割合の積を求めて、基にする量の何倍にあたるかを考える。   |
|     | 第13時      | 単元を振り返り、確認問題に取り組む。            |
| 第5次 | 第14時 (本時) | 割引の問題を解き、説明する。                |

### 4 本時の学習指導

- (1) 目 標
  - 百分率の意味及び小数倍との関係を理解して、割引の問題を解くことができる。
  - 関係図や線分図を使って、考えを説明することができる。
- (2) 準備・資料
  - 教師……ワークシート
- (3) 関 連
 

6年 割合を使って (全体を1として考え、割合を使って問題を解く)
- (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項
課題把握	1 本時の学習課題をつかむ。 (1) 日常生活で割引を使う場面を思い出す。 (2) 本時の課題をつかむ。		○ 割合を表す小数と百分率の関係を黒板に「80%→0.8倍」等と提示し、問題解決の場面で確認できるようにしておく。
割引を使った問題を解き、全員が説明できるようになろう。			
5			

基本問題 自力解決	<p>2 割引の基本的な問題に取り組み、割引後の金額の求め方を考える。</p> <p>(1) 個人で考える。</p> <p>① もとの値段の10%引きの値段</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>1800 \times 0.1 = 180</math></li> <li><math>1800 - 180 = 1620</math>     <u>1620円</u></li> <li>・ <math>1800 \times 0.9 = 1620</math>     <u>1620円</u></li> </ul> <p>② もとの値段の30%引きの値段</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>1800 \times 0.3 = 540</math></li> <li><math>1800 - 540 = 1260</math>     <u>1260円</u></li> <li>・ <math>1800 \times 0.7 = 1260</math>     <u>1260円</u></li> </ul>	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 美ら海水族館の大人の入場料が実際に割引になる場面を紹介し、児童の意欲を高める。</li> <li>○ コンビニ割引と4時からチケットを取り上げ、複数の問題で割引の意味を考えさせる。</li> <li>○ 式が立てられない児童には、百分率を小数倍にして考えることや「もとにする量×割合＝くらべる量」であることを助言する。</li> </ul>
基本問題 練り上げ	<p>(2) ペアで伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートを見せ合いながら、説明し合う。</li> </ul> <p>(3) 全体場で考え方を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 値引き後の値段を求める式を確認する。</li> </ul>	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ペアで自分の考えを伝え合わせることで解決させたり、考えに自信をもたせたりする。</li> <li>○ 全体発表の場では、教師が質問をしたり、同じことを他の児童に言わせたりして、考えをより深めるようにする。</li> </ul> <p>評 割引の意味を理解し、割引後の値段を求める式と答えを考え、説明することができる。(ワークシート・発表)</p>
発展問題 解決	<p>3 割引の発展的な問題に取り組み、割引後の金額の求め方を考える。</p> <p>(1) 個人で考える。</p> <p>① もとの値段の10%引きと20%引きの値段</p> <p>A店 <math>4300 \times 0.9 = 3880</math></p> <p><math>5000 \times 0.9 = 4500</math></p> <p><math>3880 + 4500 = 8380</math>     <u>8380円</u></p> <p>B店 <math>(4300 + 5000) \times 0.8 = 7440</math></p> <p style="text-align: right;"><u>7440円</u></p> <p>(2) 考え方を発表し合い、確認する。</p>	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「沖縄県学力向上WebテストB問題」に取り組みさせる。</li> <li>○ 問題文をよく読み、何を求める問題なのかを考えさせる。</li> </ul> <p>評 百分率を小数倍にして式を立て、答えを導き出すことができる。(ワークシート・発表)</p>
まとめ	<p>4 本時のまとめと振り返りをする。</p> <p>(1) 割引後の値段の求め方をまとめる。</p>	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 割引の問題では、求めたい部分の割合を求めてから計算すると早いことを確認する。</li> <li>○ 学習内容で分かったことを自分の言葉で発表させる。</li> </ul>

(5) 本時の評価規準

- 百分率の意味及び小数倍との関係を理解して、割引の問題を解くことができる。(ワークシート・発表)
- 関係図や線分図を使って、考えを説明することができる。(ワークシート・発表)

5 単元を通したよりよい学びにするための手立て

- (1) 割合を求める言葉の式や百分率と小数倍の関係など学習した内容を教室に掲示しておき、いつでも確認することができるようにする。
- (2) 問題解決の場面では、1人で考えさせた後、ペアや全体で自分の考えを伝え合わせることで、相手の考えに共感したり、自分の考えのよさや不十分さに気付いたりして思考を深めさせる。(シンク・ペア・シェア)